

平成19年度

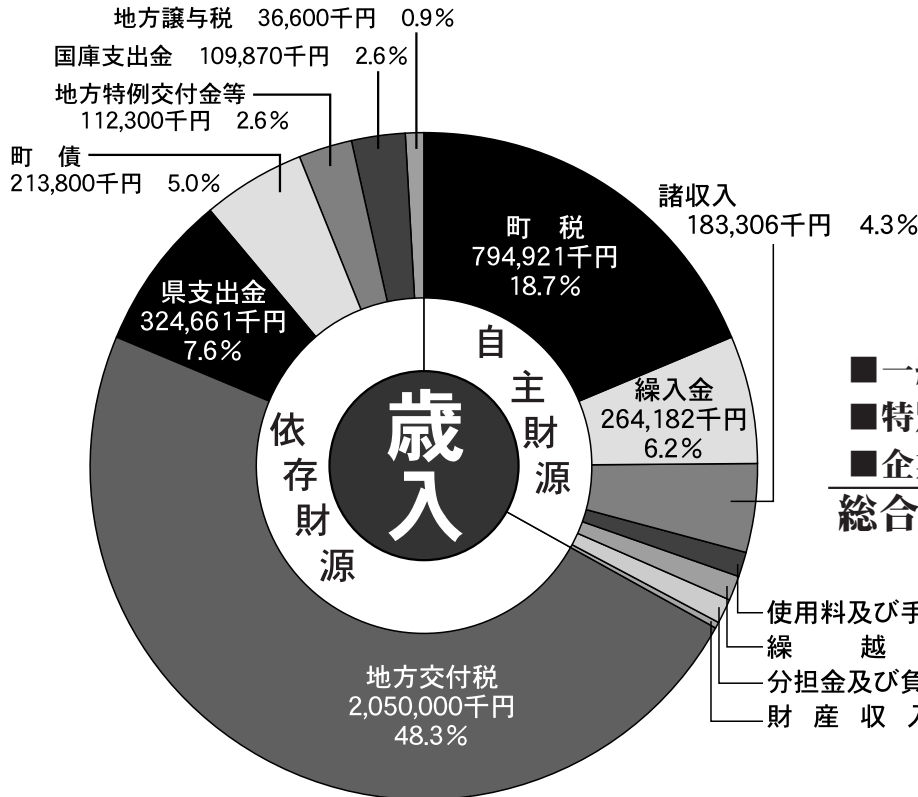
まちの 予算

本

町の財政状況は、町税収入が大きく伸び悩む中、歳入の約半分を占める地方交付税が前年度に引き続き減額になる見込みです。さらに、歳出においては過去の景気対策による町債の大量発行により、町債(借金)残高が約60億円に達しており、その元利償還金が今年度にピークを迎えます。

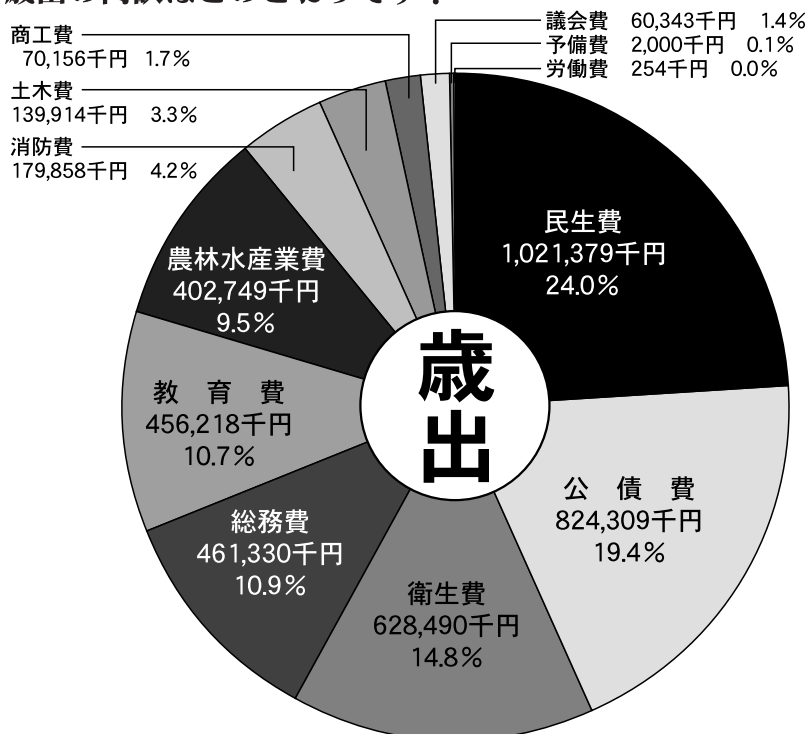
一方、貯金にあたる基金残高は、16年度末の5億3千万円から7億4千万円へとやや回復に向かっています。しかし、未だ厳しい財政状況の中で、平成19年度は町民の皆さまに固定資産税の税率改正という新たな負担をお願いすることとなりました。本年度は、このことを念頭におきながら、従来にも増して歳入の確保及び歳出の削減を図った結果、平成19年度予算は総額42億4千7百万円と前年度と比べて2%の伸びとなりました。

平成19年度の一般会計予算額は42億4700万円



■一般会計・・・42億4700万円
 ■特別会計・・・38億5972万円
 ■企業会計・・・22億1612万円
総合計 103億2284万円

その歳出の内訳はこのとおりです！



3月の定例議会で、本年度の予算が成立しました。単独自立の町として発展していくためには持続可能な財政構造への転換が急務です。智頭町では、限られた財源を有効に活用しながら福祉の充実、自立した地域づくり、産業振興など、さまざまな施策を折り込んだ予算を編成しました。